

よんじゆう
四十

よんじゆう
四十

よんじゆう 四十という数はもともと、古い世代が滅び新しい世代が育つ期間として使われていました。イスラエルの荒れ野における四十年間の滞在、ダビデ、ソロモンの統治期間などがこれにあてはまります。

さらに、洪水の時の雨や、モーセのシナイ山での滞在では、四十日四十夜という表現を使って、長い期間であったことを表しています。

じゆんびきかん
準備期間

イエスさまがガリラヤで活動を始める前に、荒れ野で四十日間すごした事が今日の聖書で述べられています。又、使徒言行録では、イエスさまが復活した後四十日間使徒たちとすごしたと伝えてあります。この四十日という数は、イスラエルがエジプトを脱出してから入国するまでの期間が四十年であった事を象徴的に示すために使われています。新たな事を始める前にこの期間を過ごし、心の準備をする事を求めているのです。

教会きょうかいの典てん礼れい曆れきでも、復ふ活かつ祭さい前まえの準じゆん備びの期き間かんとして

四し旬じゆん節せつが設もうけられています。もともとは、復ふ活かつ祭さいに

洗せん礼れいを受うける志しがん願ん者しやの準じゆん備びの期き間かんとして作つくられたよ

うですが、洗せん礼れい志しがん願ん者しやだけでなく、信しん者じやが復ふ活かつ祭さいをふ

さわしく迎むかえるために準じゆん備びする期き間かんとしても使つかわれ

るようになりました。

私わたしたちも、この四し旬じゆん節せつの期き間かんを通とおして、自じ分ぶんたち

の生せい活かつをふりかえり、イエスさまの示しめされた福ふく音いんにふ

さわしく生いきているかを問とい直なおすようにしましょう。

ふさわしくないことで、どんなことがあるか考かん考がうえて、

次つぎの空くう白はくに書かいて下ください。

